

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-534889(P2004-534889A)

【公表日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2003-511238(P2003-511238)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/06 (2006.01)

G 1 1 B 7/253 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 7/26 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 64/06

G 1 1 B 7/24 5 2 6 G

G 1 1 B 7/24 5 3 1 Z

G 1 1 B 7/26

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月20日(2005.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

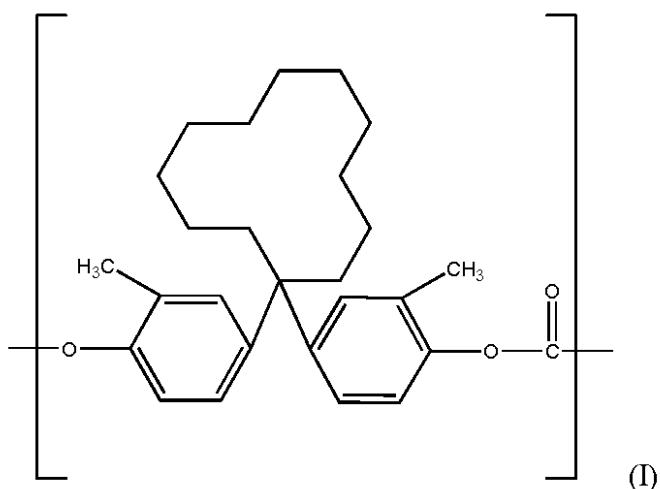
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

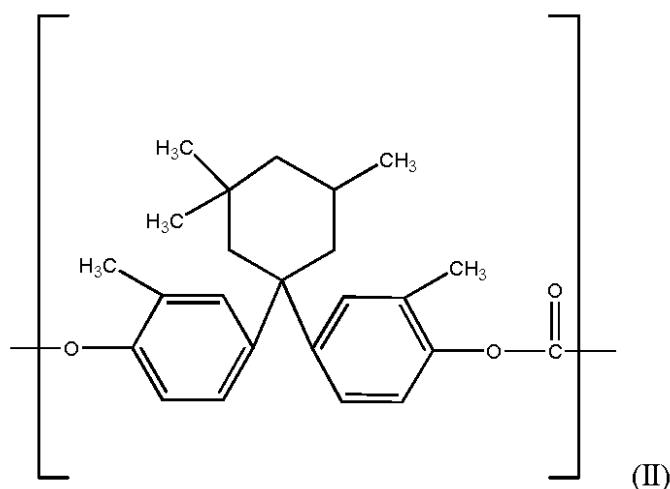
【請求項1】

(1) 1以上のポリカーボネート部分を含む基板と、(2)基板上に設けられた1以上のデータ層とを含むデータ用記憶媒体であって、上記ポリカーボネートが、下記の構造(I)、(II)、(III)、(IV)又はその組合せからなる1種以上の化合物を含み、150を超えるガラス転移温度を有する、記憶媒体。

【化1】

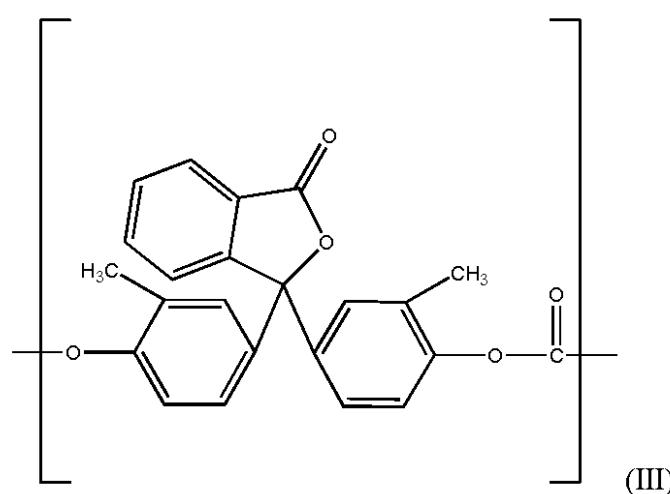


【化2】



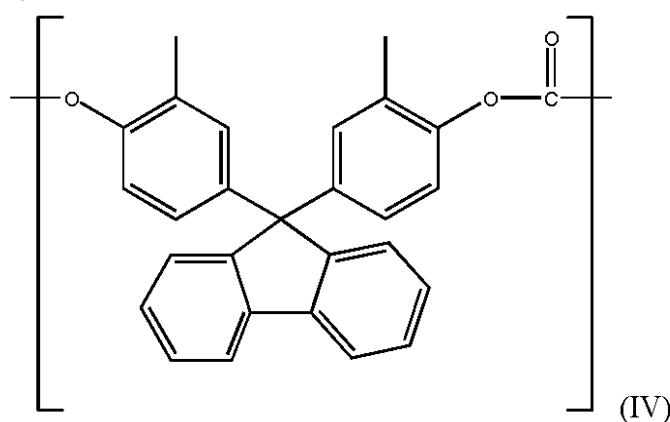
(II)

【化3】



(III)

【化4】



(IV)

【請求項2】

前記ポリカーボネートが240の温度で0.04を超える機械的減衰係数を有する、請求項1記載の記憶媒体。

【請求項3】

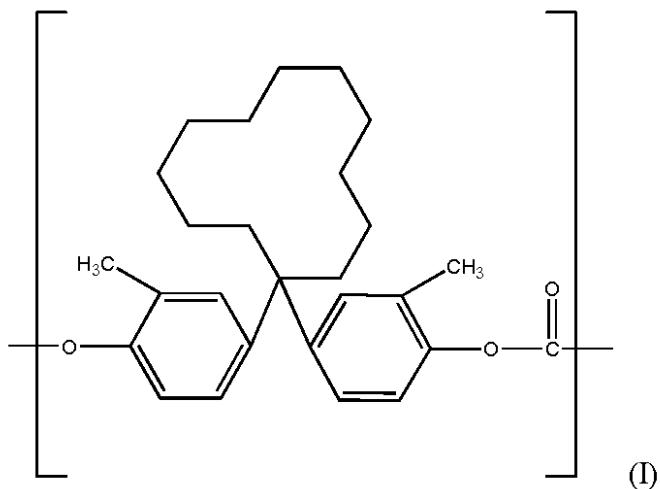
前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として10000~100000の範囲の重量平均分子量を有する、請求項1記載の記憶媒体。

【請求項4】

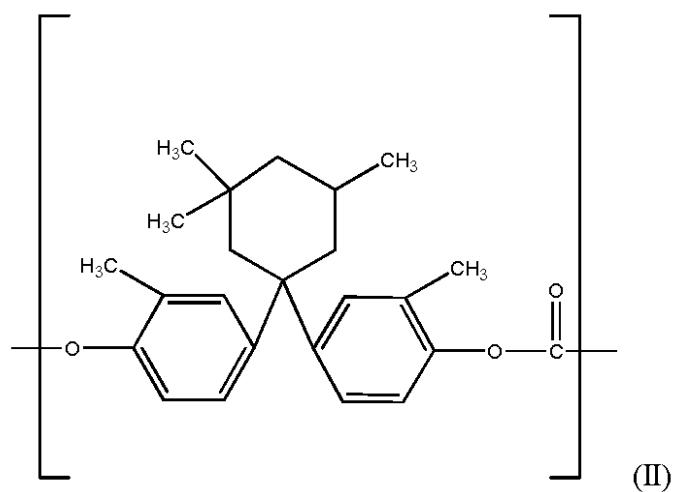
下記の構造(I)、(II)、(III)、(IV)又はその組合せからなる1種以上の化合物

を含む、改善された制振性能を有するポリカーボネート組成物であつて、ポリカーボネートが240の温度で0.04を超える機械的減衰係数及び150を超えるガラス転移温度を有する、ポリカーボネート組成物。

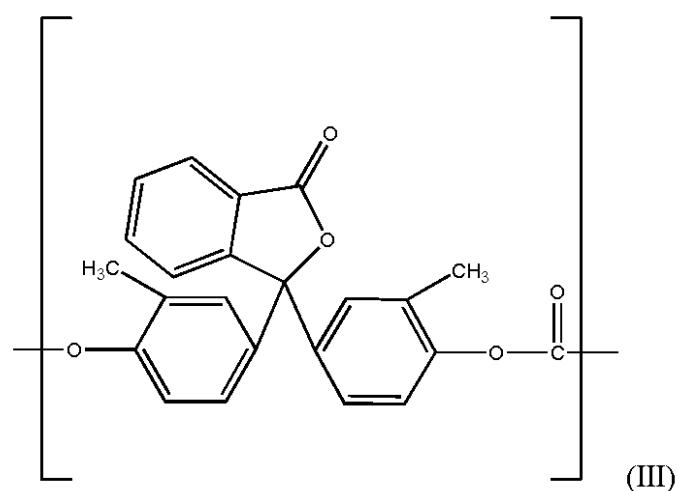
【化5】



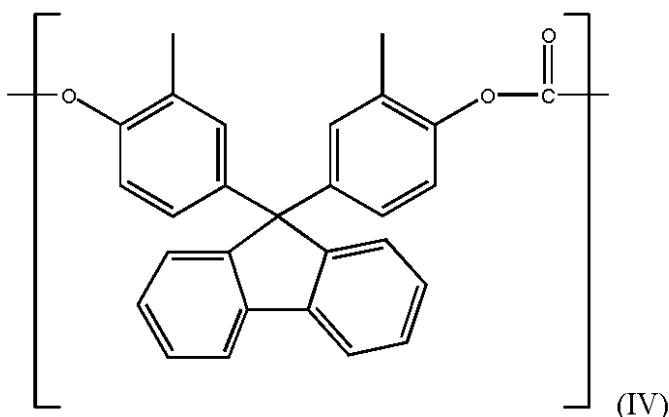
【化6】



【化7】



【化8】



【請求項5】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として10000～100000の範囲の重量平均分子量を有する、請求項4記載のポリカーボネート組成物。

【請求項6】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として10000～50000の範囲の重量平均分子量を有する、請求項5記載のポリカーボネート組成物。

【請求項7】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として12000～40000の範囲の重量平均分子量を有する、請求項6記載のポリカーボネート組成物。

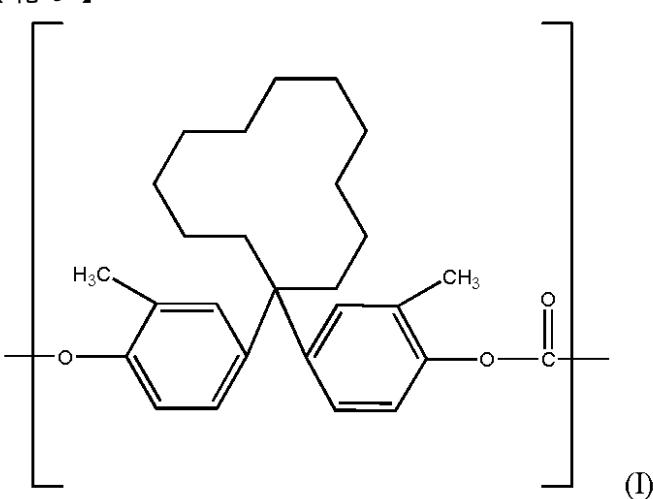
【請求項8】

前記ポリカーボネートが24の温度で0.1を超える機械的減衰係数を有する、請求項4記載のポリカーボネート組成物。

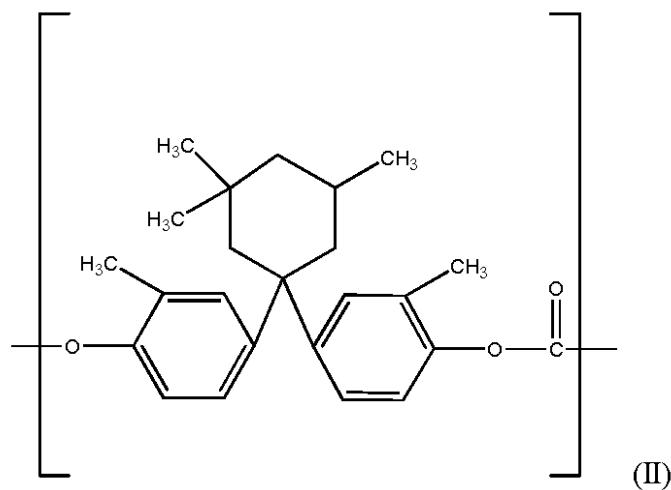
【請求項9】

物品の制振性能を改善するための方法であって、下記の構造(I)、(II)、(III)、(IV)又はその組合せからなる1種以上の化合物を有するポリカーボネートで物品を作ることを含んでなり、上記ポリカーボネートが24の温度で0.04を超える機械的減衰係数及び150を超えるガラス転移温度を有する、方法。

【化9】

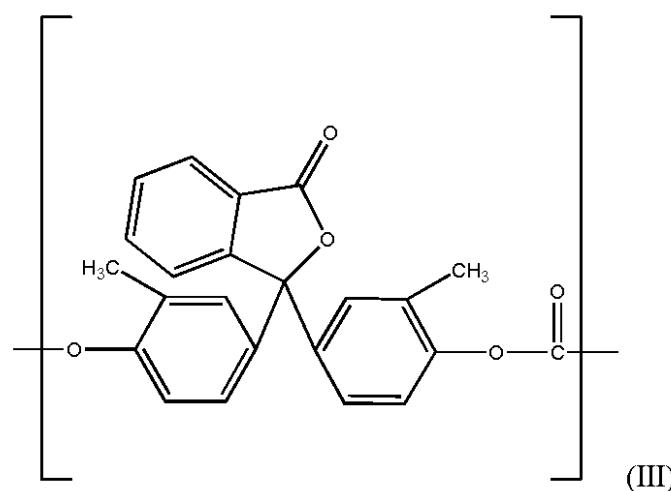


【化10】



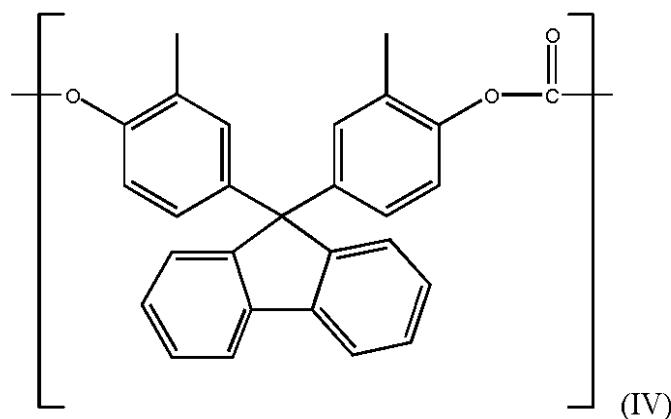
(II)

【化11】



(III)

【化12】



(IV)

【請求項10】

物品がデータ用記憶媒体からなる、請求項9記載の方法。